

日中合作 恋実る

【北京鈴木徹】夕張市と上海市を舞台にした日中合作の恋愛映画「甜心巧克力」(邦題「スイートハート・チョコレート」、篠原哲雄監督)が8日、中国各都市で公開される。7日に北京市内で行われた試写会には、約300人以上の中国メディア関係者が詰めかけた。沖縄県・尖閣諸島問題で両国関係が悪化した昨秋以降、日中合作映画が中国で公開されるのは初めて。

試写会では、主演した台湾出身の人気女優・林志玲さんが共演者の池内博之さん、福地佑介さんと共に舞台あいさつし「チョコレートのように新鮮で甘い映画です。ぜひ好きな人と見に行ってください」と呼びかけた。

一年半前に撮影を終えながら日中関係悪化の影響で公開が遅れていただけに、篠原監督は「多くの方に見てもらえる日が来たことをうれしく思う」と感慨深げに語った。

作品は中国人留学生のリン(ユエ(林))と、その恋人で夕張のスキー場でレスキュー隊員の守(福地)、守の友人で彼女に思いを寄せる総一郎(池内)の3人が織りなすラブロマンス。亡くなった彼氏を思い続けるひたむきな愛情をテーマに、音楽は久石譲さんが担当した。冬の夕張市の美しい雪景色と巨大都市・上海との対比も見どころだ。

夕張舞台の映画 きょう中国公開

北海道を舞台にした映画としては、2008年公開の「非誠勿擾」(邦題「狙った恋の落とし方」)が中国で爆発的にヒットし、北海道の知名度を格段に高めた。今回も北海道ブームの再来が期待され、道観光振興機構は来週、札幌市北京事務所などと共同で大連、瀋陽、北京などで観光プロモーションを行う。同事務所の角田貴美所長は「中国での北海道人気をさらに盛り上げたい」と話している。日本でも公開される見通し。

尖閣問題で遅れ



舞台あいさつする林志玲さん(右)と池内博之さん(左)、福地佑介さん(鈴木徹撮影)